T-グッズ窓枠NA・NCタイプ

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■梱包明細書（注：T-ブロックの施工はT-ブロックラテル＆ウォルズ取付説明書を参照してください。）

1 窓枠NA・NCタイプセット

名　　称	員 数
窓枠本体	1
窓枠固定金具	4
端部ふさぎ材	2
上部ふさぎ材	1
クッション材	1
窓枠固定ネジ M4×20トラス	4

2 現場張り用モルタルセット

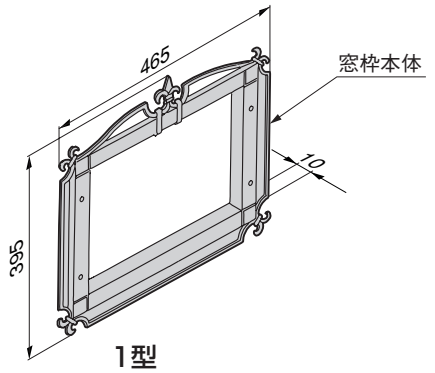
名　　称	員 数
専用混和剤	2.5Kg
専用モルタル	10Kg
目地パック	2

3 端部用ブリック L-135（※2セット必要）

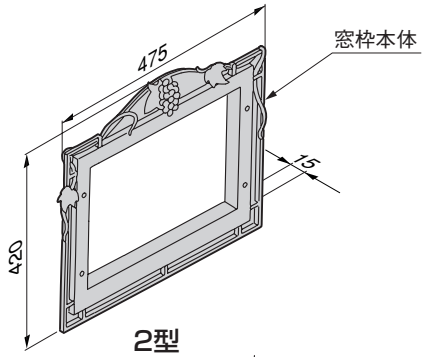
名　　称	員 数
端部用ブリック L-135	10

1. 窓枠基本寸法図

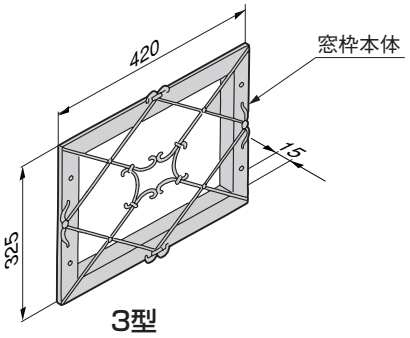
1-1 NAタイプ



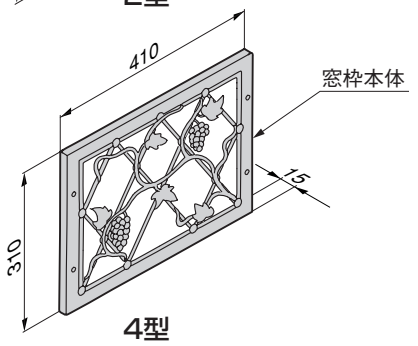
1型



2型

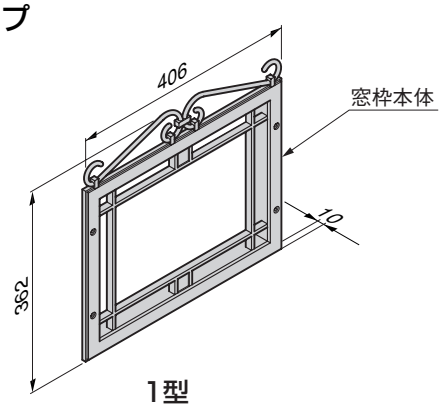


3型

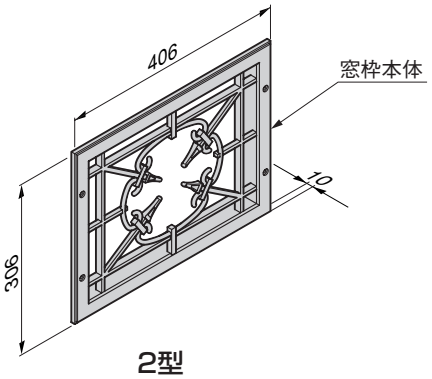


4型

1-2 NCタイプ



1型



2型

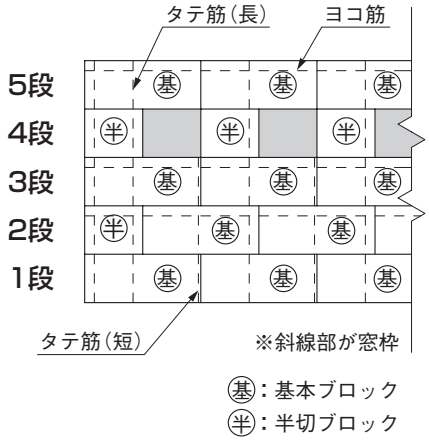
<注 意>
● 厚み方向の寸法は、ブロック壁面からの出幅寸法を示します。

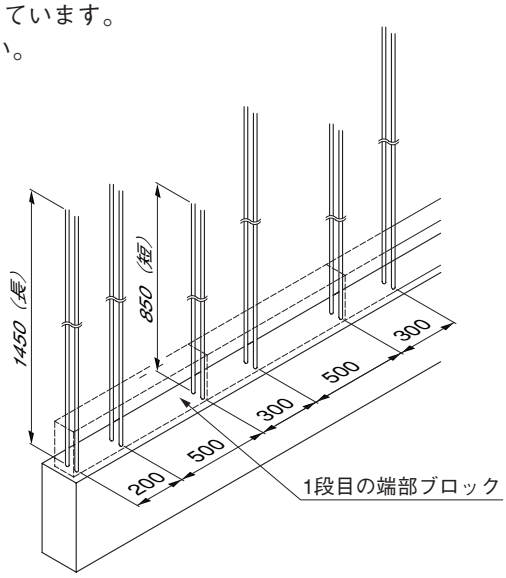
2. 施工の前に（配筋図）

<注 意>

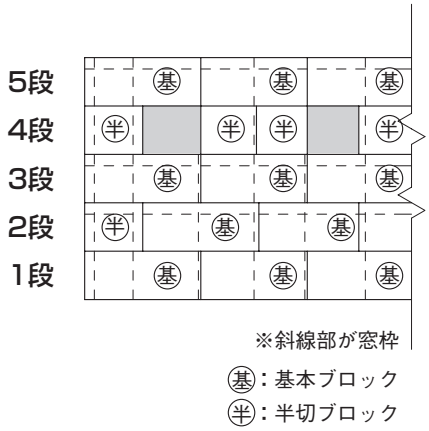
- ブロックの施工は「3.窓枠部分のブリック張り」をしてから「4.ブロックの施工」に従って行なってください。
- 窓枠を取付ける仕様でのＴ-ブロックの施工の場合は、通常の施工（Ｔ-ブロックラテル＆ウォルズの取付説明書で指示している施工）の場合と比べ、タテ筋ピッチおよびヨコ筋配筋位置が異なっていますので十分注意して施工してください。

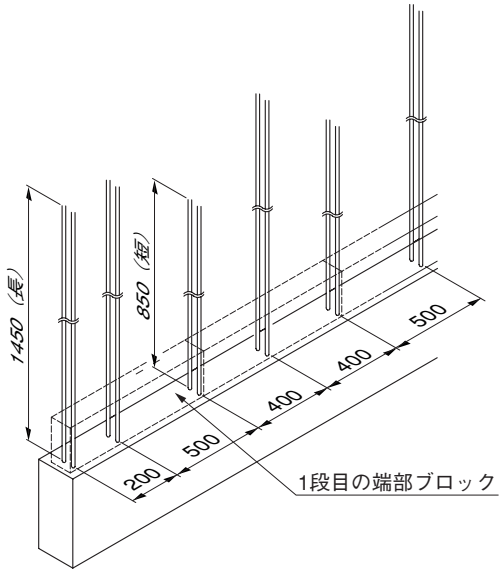
❶ 窓枠はＡ，Ｂのように４段目(斜線部)に施工する事を標準としています。
❷ 窓枠の上部および側面部にあたるブロックを選別してください。





Ａ：800ピッチ





Ｂ：1200ピッチ

<注 意>

- 上記以外の位置に窓枠が取付く場合、下記の要領に従ってタテ筋・ヨコ筋を配筋してください。

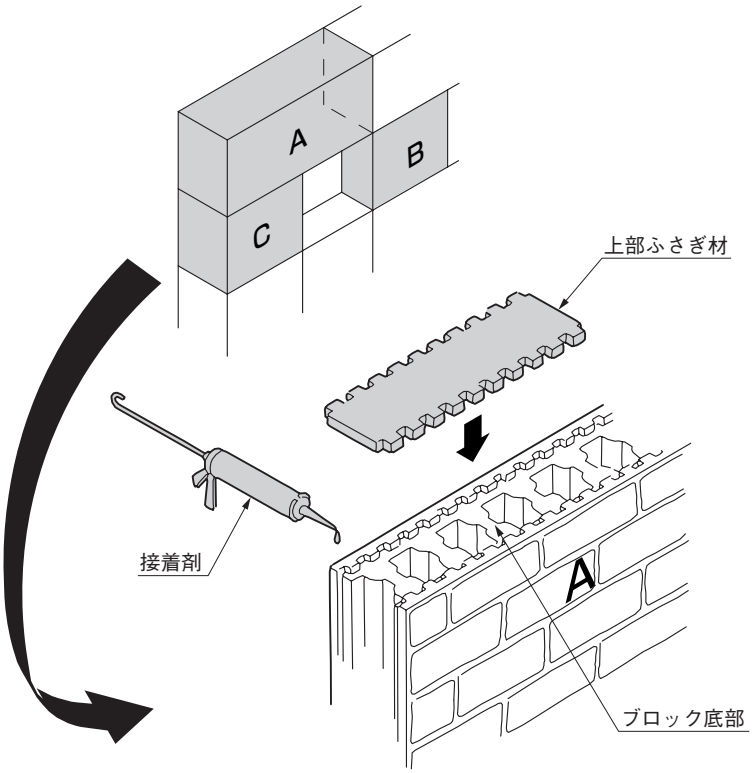
❶ タテ筋は800ピッチ以内になるようにしてください。

❷ ヨコ筋は窓枠が入る段（通常は4段目）をさけ、連続して2段ブロックを積むうち、少なくとも1段に配筋してください。

<注 意>

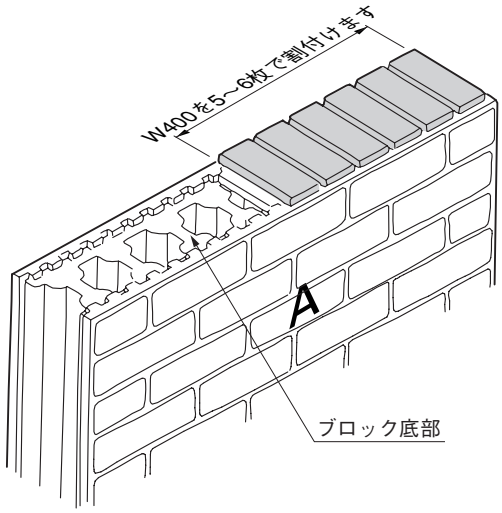
- Ｔ－ブロックの施工はあらかじめ施工図にて、ブロックの割付け、配筋、モルタル充てん箇所を確認してください。

3. 窓枠部分のブリック張り

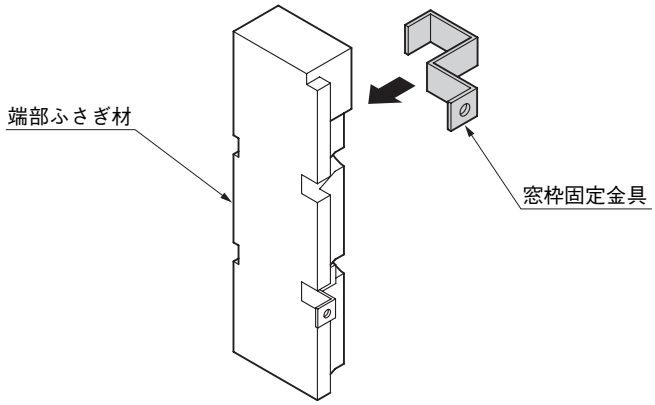


❶ 窓枠の上部（図中Ａ）にあたるブロックの下部に接着剤で上部ふさぎ材を貼付けてください。

❷ 十分接着剤が硬化した事を確認した後、端部用ブリック（Ｌ-135）をＴ-ブロックラテル＆ウォルズの取付説明書に従って張付けてください。



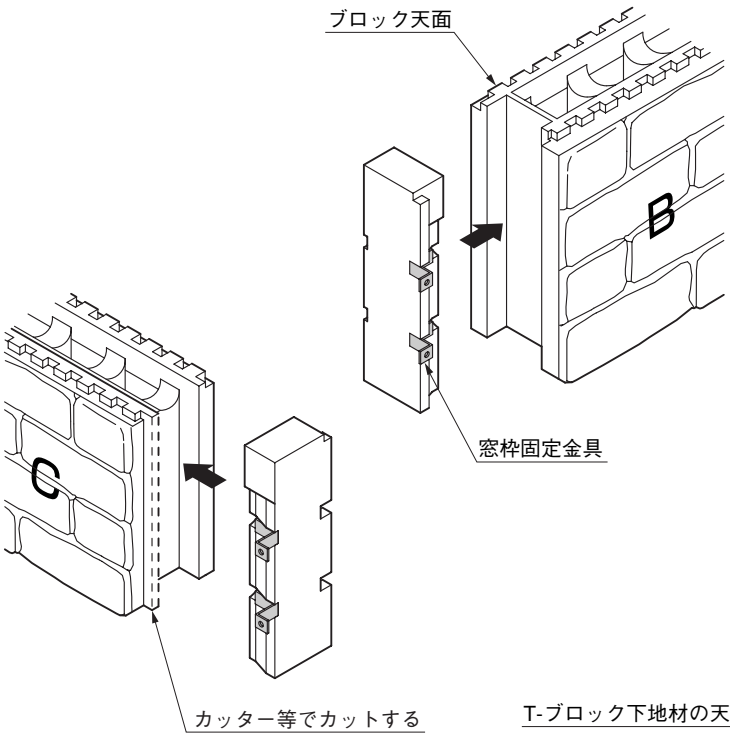
❸ 端部ふさぎ材の切り欠きにそうように窓枠取付金具をはめ込んでください。このとき窓枠取付金具をテープ等で仮固定してください。



<注 意>

- 窓枠を片面に使用する場合は窓枠取付金具の向きに注意してください。

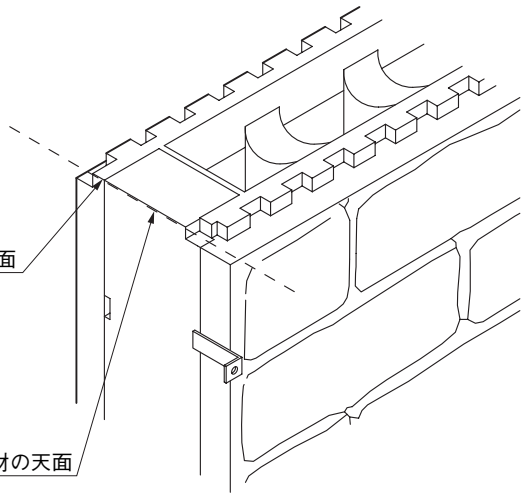
3. つづき

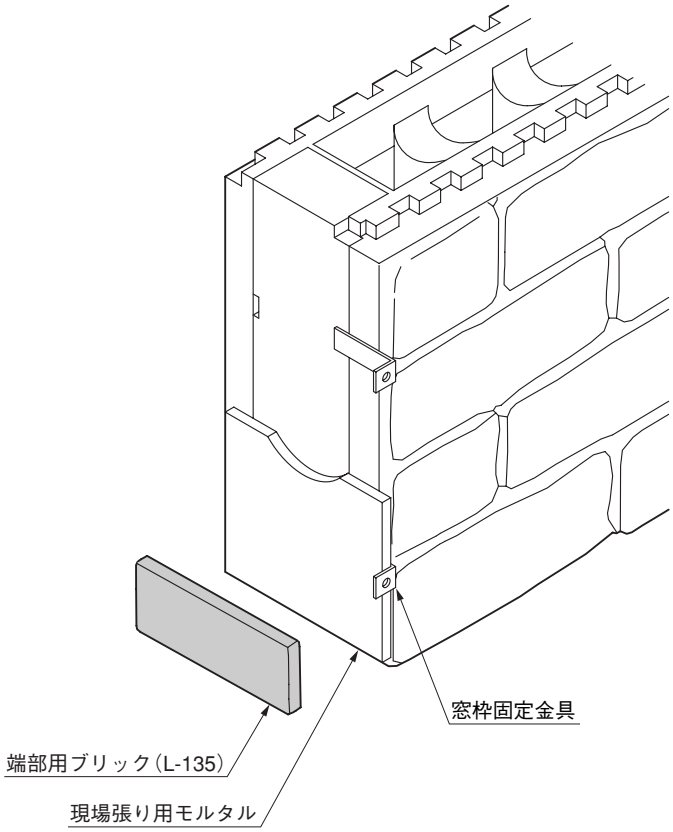


❹ 窓枠の側面部（図中Ｂ、Ｃ）にあたるブロック端部の小口面にある出っぱりをカッター等で切断して、端部ふさぎ材を接着剤で貼付けてください。このとき、端部ふさぎ材の天面とブロックの発泡下地の天面を合わせるようにしてください。

<ポイント>

- 窓枠取付金具を仮固定したまま端部ふさぎ材の接着を行なうと位置出しがしやすくなります。





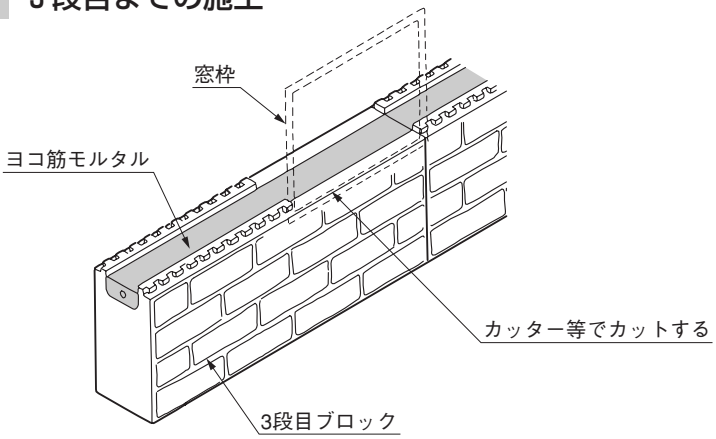
❺ 端部用ブリック（Ｌ-135）を「現場張り用モルタル」で張ってください。

<注 意>

- 窓枠固定金具をつけた状態でのモルタル塗りは金具の位置がずれないよう十分注意してください。金具がずれますと、窓枠との穴位置があわなくなり、取付かなくなる事があります。

4. ブロックの施工

4-1 3段目までの施工



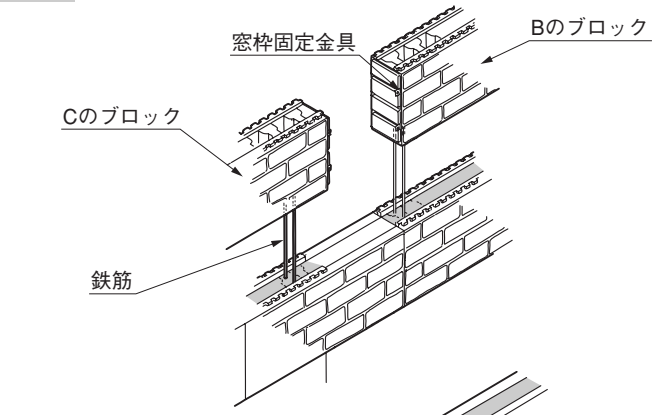
<注 意>

- 3段目までは通常のブロック施工方法と同様です。T-ブロックラテル＆ウォルズの取付説明書を参照してください。

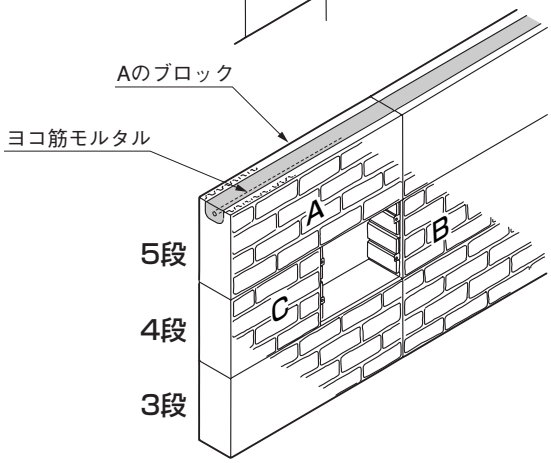
❶ 窓枠を取付ける部分のブロック上部の凹凸部をカッター等でカットしてください。

❷ 2段目、3段目にはヨコ筋を配筋し、モルタルを充てんしてください。また、窓枠を取付ける部分のモルタルは、平らにならしてください。

4-2 4段目・5段目の施工



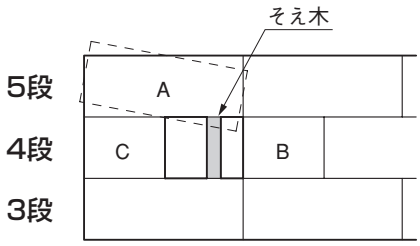
❶「3.窓枠部分のブリック張り」の項で作ったブロック（図中Ｂ、Ｃ）をジョイント凹凸部にはめ込み、タテ筋部分にモルタルを充てんしてください。

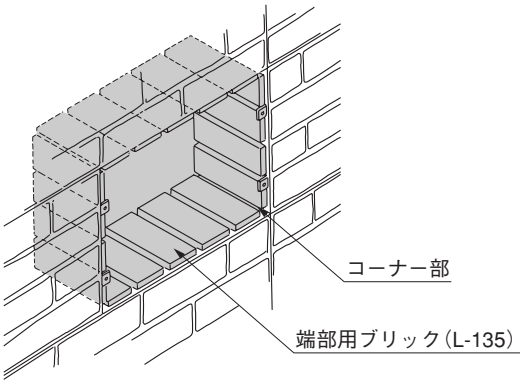


❷「3.窓枠部分のブリック張り」の項で作ったブロック（図中Ａ）をジョイント凹凸にあわせ、同様に施工してください。なお、5段目にはヨコ筋を配筋したモルタルを充てんしてください。

<注 意>

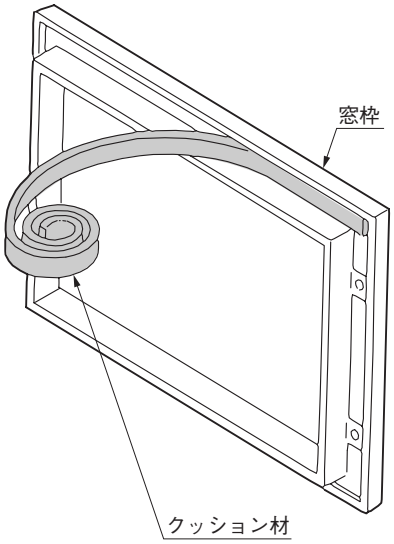
- 左図Ａのブロックは、発泡芯材内部のモルタルが硬化するまでは、図中点線部のように傾いた状態になってしまい、後で窓枠本体が穴に入らない場合があります。モルタルが完全に硬化するまでは左図のようにそえ木などで仮固定し、Ａのブロックが傾かないようにしてください。



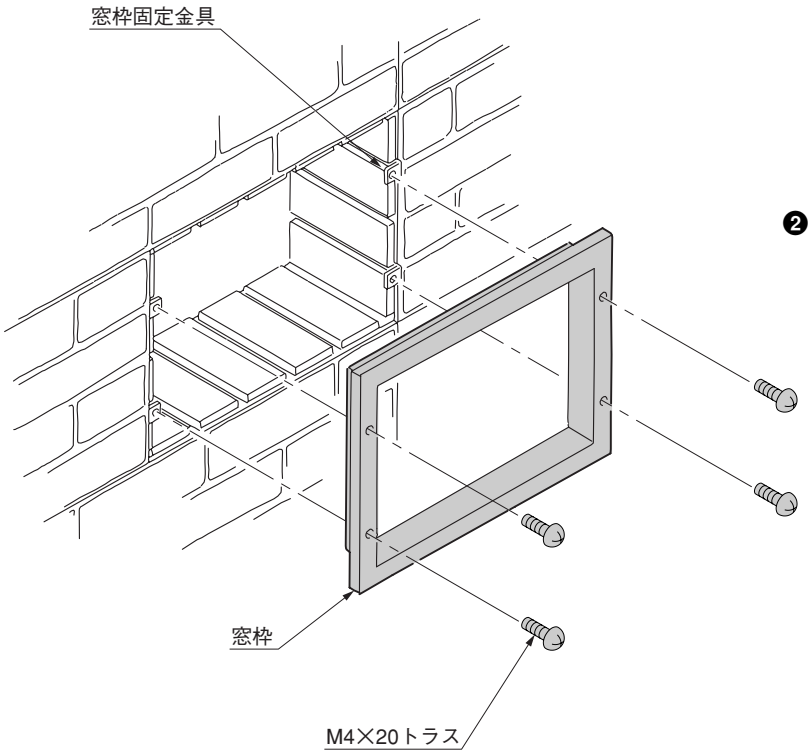


❸ ブロック内部のモルタルが完全硬化した後、窓枠の下側の部分に端部用ブリック（L-135）を現場張り用モルタルセットで張り付け、またコーナー部に隙間がある場合はモルタルで隙間を埋めてください。

5. 窓枠の取付け



❶ 窓枠の奥のヘコミにあわせるようにし て、クッション材を貼付けてください。



❷ 窓枠固定金具にM4×20トラスネジを用いて窓枠を固定してください。

6. 施工上、使用上の注意事項

＜T-ブロック商品に対する知識＞

■自然な風合いを出すため、表面の凸凹や色合いはブロックにより違いがあります。

■ブロックごとの目地色の濃度に個体差が生じます。

- お届け時または施工後、季節・施工条件などにより目地モルタル表面が一部白くなる場合がありますが、性能などに問題はありません。

＜施工上のご注意＞

■運搬および保管

- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。
- 発泡芯材は太陽光線のもとに長時間放置すると、紫外線により表面が劣化するおそれがあります。
- 発泡芯材部は80℃以上になると変形しますので、高温のものや火気がない場所に保管してください。

■施工

- 充てんモルタルが硬化するまで添え木などで支え、ずれたり倒れたりしないように注意してください。
- 気温が 5 ℃以下になる場合は施工を避けてください。
- 充てんモルタルから水分がブロック表面に流れ出た場合は、速やかに水洗いしてください。白華の原因になります。
- 接着やコーキングは当社指定の「専用接着剤」を使用してください。
- ブリックや目地に直接ビス類で、ポスト等重量物を取付けないでください。落下するおそれがあります。
- 表面にモルタルが付着した場合は、速やかに柔らかいナイロンブラシなどで水洗いをしてください。金属ブラシでの清掃はブリック表面を傷めますので行なわないでください。
- 発泡芯材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などに優れた抵抗性を持っていますが、アルコール以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っていますので、それらが付着しないように注意してください。
  （例：有機溶剤系塗料、接着剤、有機溶剤系はっ水剤、灯油、ガソリンなど）

＜使用上のご注意＞

■年に 2 ～ 3 回の水洗いをしてください。

■清掃には金属製ブラシや金ベラは使用しないでください。表面を傷めるおそれがありますので、柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。

■汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをしてください。その際、近くの植栽に洗剤がかからないように注意してください。

■シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は避けてください。

■商品の発泡芯材は難燃材を含んでいますので、微小火源では着火しにくくなっていますが、80℃以上で融解する性質があります。火気や高温のものを近づけないでください。

自然が未来

TOEX

東洋エクステリア

工事店様へ

●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

●ご使用いただきましてありがとうございました。次回も当社製品をご使用ください。

取説コード

F159

200003A